



地域の皆さんと小菅神社に多くある文化財の保存について等意見交換されました。祭式場に高さ約4mの粗朶を束ねた2基の「柱松」を建て、松神子2人が競って登り上がり、火打ち石で尾花に点火するまでの速さを競い合うことで、「天下泰平」か「五穀豊穡」かを占います。今年は西方に



小菅神社 柱松柴灯神事開催

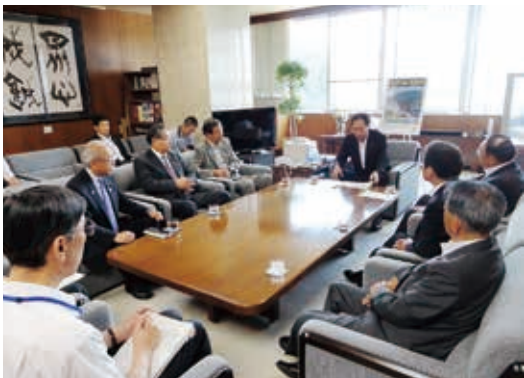
—阿部知事・伊藤教育長が見学—

7月14・15日に小菅神社の「柱松柴灯神事」が開催されました。これは、3年に1度のお祭りです。修験者等の「験比べ」と豊凶を占う火祭りです。今回は、国重要無形民俗文化財に指定されて初めての祭礼ということ、阿部知事、伊藤学司長野県

教育長もお見えになり、早く火が点き「五穀豊穡」となりました。今年度中には、小菅集落の景観を国の重要文化的景観指定にむけ申請をするようになっており、現在は大大学の研究者を中心に、有形無形の地域を形作ってきた人々の営み等を調査中です。

入札制度研究会で知事に要望!

6月27日長野県議会入札制度研究会(服部宏昭会長)役員で知事要望を行いました。この際知事より、失格基準価格を2.5ポイント引き上げる方向で検討に入ることを示唆されました。



25年度は富山・石川県への現地調査から



6.10 富山県庁新幹線延伸にむけた取組について

6月10日から12日まで富山・石川県へ現地調査に行ってきました。富山はコンパクトシティを指し取り取り上げられていす。今後の人口減少と高齢化社会を控え、公共交通を活性化させ公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを目指しています。その機軸となるポータルムについて視察調査しました。富山・石



6.11 石川県庁



6.10 富山市 ポートラム

川県は日本海に面し、港湾整備によって取扱貨物の増加や客船を利用した誘客についても取組んでいます。また、両県共に新幹線の延伸を控えての観光施策や伝統・文化を活かした地場産業の活性化・ものづくりに力を入れています。最終日には、奥能登総合事務所にて能登空港の運営状況・また新幹線延伸への対応等について視察・調査してきました。抱える課題は、各地共通のものがあります。北陸新幹線の並行在来線の問題や農商工連携等、参考にしてまいります。

活動あれこれ



3.4 栄村福幸そばを加藤副知事に報告



3.16 さかえ雪ん子まつり



5.11 県議杯争奪 飯山市少年野球大会始球式



6.9 栄村山菜まつり



4.24 北竜湖 湖水開き



7.14 山口城址にて

「県政ながの」は県民の声を大切に

★各地区支部事務所は県民の広場です。気軽にお立ち寄りください。

★少人数のミニ集会でも県政報告に伺います。皆様の要望もお聞きし、県政に反映させます。